



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

ちよこい話

里山の散歩 自分流

ご夫婦で早朝の散歩を
楽しまれている女性会員



の辰巳くにかさん(志津地区)にイン
タビューしました。コロナ禍で増え
たおうち時間を、里山歩きに活かさ
れています。

合歡木(小竹) 初夏にはピンクの花が満開になります

朝は早いとのことですが— 空が白む4時
半頃から出掛けて、ゆっくりと1時間半ほど
歩きます。野鳥の鳴き声の響きわたる、ひん
やりとした里山の朝は快適です。



カラスウリの花の絵(散歩のあとに描かれた絵)

夏のお楽しみは—

春の主役は桜です
が、初夏になると、
刷毛のように細いピ
ンクの花が扇を広げ
たように咲く合歡木
(ねむの木)がいい
ですね。早朝には、
夜に咲いたカラスウ
リの珍しい花の姿に
出会います。集落の生垣の道の前には、タケ
ノコから伸びた若い青竹が、竹林で高さを
競っています。細い道を抜けて田園地帯に出
ると、田植えのころに小さかった苗は大きく
成長して、若々しい緑のとても心地よい景色
が広がります。夏の魅力は自然の緑ですね。

途中にある遺跡や由緒ある樹木、登録文化財
などの歴史話も話題になります。好みの夏の
コースにある五つの坂には『1の坂』から順
に『5の坂』までの名を付けてあり、位置の
目安にしています。

散歩の後にも楽しみがあると—

花々が
広い畑に咲き誇ると華やかです。その一方で、
ひっそりと咲く可憐な姿の撫子や凛とした水
仙も素敵です。気に入った花は写真に撮り、
帰ってからこれを絵に描きます。本格的な作
品を描くときは丁寧にスケッチをします。

とっておきのお薦めは—

ぐつと冷え込
んだ早朝に霜が降りて、一面が真っ白になっ
た広い畑の景色。それと、船戸大橋から眺め
る印旛沼の日の出ですね。とても素晴らしい
シーンです。



印旛沼の日の出(船戸大橋)



旧青菅分校校舎(青菅)
国登録有形文化財として登録を答申



推定樹齢600年のシイ 千手院(井野)

新コースの開拓は— 佐倉は歴史のある
土地で、近くの里山には古くからの風習や行
事も豊富です。これ等を調べて訪ねます。カ
モが稲作を手伝っていると聞きました。季節
になれば会いに行きます。

目に留まった花の絵も拝見しました。健康
のためにとしっかり歩くのもいいですが、四
季折々の里山の営みを自分流に感じながら
歩くと、ストレスから解放されたれていいなど
感じました。

辰巳さん、里山散歩の魅力を教わりまし
た。ありがとうございました。



野仏群25基(小竹)



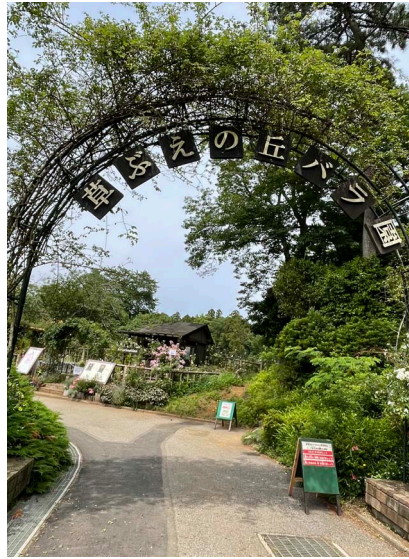
庚申塚(小竹)

取材担当／広報副委員長 徳野 廣一

テイスカーバー佐倉 第7回

佐倉草ぶえの丘バラ園

緑豊かな里山の風景に囲まれて、市民の憩いの空間、リフレッシュの場として佐倉草ぶえの丘の西側区域にバラ園として2006年4月29日のみどりの日に開園しました。今年で15周年を迎えたバラ園は、敷地が1万3千平方メートルに拡張整備され、原種、オールドローズなどを中心に1,250種類、2,500株のバラを植栽して、園内を散策しながら、バラの歴史や文化を学べるよう設計されています。



続いて、日本の風土にあったバラの育種に生涯を捧げて作出した「日本のバラの父」故鈴木省三氏の品種を

初 夏の気持ち良いそよ風の中、バラ園を訪れると例年通りにローズフェスティバルが開催され、見頃を迎えたバラが美しく咲き誇っている園内を、スタツフの稲岡さまの説明を伺いながら案内をして頂きました。まず大きな鉄製のアーチのつるバラゲートを抜けると、最初に目に入った案内板を指して、このバラ園がアメリカ・サンマリノのグレートローザリアンズ・オブ・ザ・ワールドから「殿堂入りバラ園」の称号を授与され、また世界バラ会連合から「優秀庭園賞」を受賞した榮譽を語ってくれました。



収集したコーナーへ案内され、代表作「聖火」(1967年作、東京五輪にちなんで命名)などを観賞。その一画に鈴木省三氏と晴世夫人がほほ笑むブロンズレリーフ(お孫さんの耕二郎氏が制作)が寄贈され展示されていました。その後もヨーロッパなどに自生するバラの原種を植栽したコーナー、オールドローズに四季咲きをもたらし、バラの品種改良に大きな影響を与えた中国のバラコーナー、野生バラの宝庫で、16種類の野生バラとその改良した品種を植栽した日本のバラコーナー、「佐倉ゆかりのバラ」を集めたミニガーデン、敷地斜面の整備で园路・木道を設置してイン

続いて、日本の風土にあったバラの育種に生涯を捧げて作出した「日本のバラの父」故鈴木省三氏の品種を

ドやイタリアから寄贈された貴重なバラを植栽したサンタ・マリアの谷などを散策しながらバラの魅力を堪能できる美しい景観のバラ園です。また秋バラの見頃を迎える10月中旬から11月初旬には、ローズヒップ(バラの実)も楽しめます。



佐 倉草ぶえの丘バラ園の管理運営は、50名にも及ぶ熱心なボランティアに支えられ、園内の様々な構築物、鉄製のアーチとスクリーン、木製のゲートとスクリーンその他すべてがボランティアの手作りで着実に整備されてきました。このバラ園が先の榮譽あるW受賞に象徴されるように、「日本でいちばん国際的なバラ園」であることを佐倉市民の誇りとして、さらに市民のバラ園としてより発展させていくために、市民参加を推進させたいので、ぜひ協力して下さい。ボランティアを募集していますとのことでした。



佐倉草ぶえの丘バラ園へのアクセス

バス▼京成佐倉駅北口からの循環バスで10分〜20分
入園料▼大人410円

取材担当／広報委員 長谷川 幸雄

“互助会の日帰りバス旅行” 中止のお知らせ

会員互助会



恒例の日帰りバス旅行について、コロナ禍の続く中、感染拡大防止と会員皆様の体調管理を第一とする考えから、昨年度と同様に中止することと致しました。

令和3年8月1日 会員互助会会長 岡本 恒雄